

藍綬褒章受章のご報告と御礼

この度、令和6年秋の褒章において、藍綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄と感激致しております。藍綬褒章とは医療、福祉などの分野で長年にわたって社会貢献した者に与えられる章で、介護老人保健施設啓寿園、関連法人を含むあさかホスピタルグループ職員の活躍が評価されたものです。皆さまのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。これからも職員とともに高齢者の医療と介護の現場で一層精進して参ります。

施設長 佐久間 正

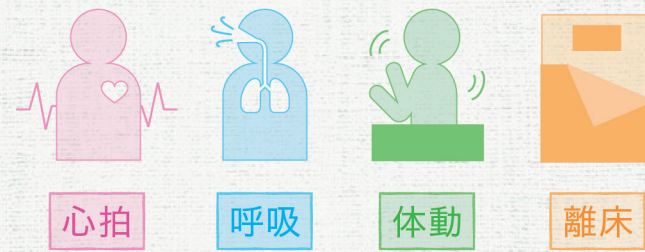


見守り介護ロボット導入について

令和6年度介護報酬改定で新たに介護施設の生産性向上推進加算が設けられました。国の示す生産性向上ガイドラインに基づいた業務改善を継続的に行い、見守り機器等を導入し、業務改善の取組による効果を示すデータ提供を行うことが条件とされています。啓寿園では令和6年4月から生産性向上委員会を設置し、見守り機器の導入に向けてガイドラインを読み込んできました。令和7年1月からセンサーマットを導入し、利用者さまの睡眠状態や心拍、呼吸、体動、離床を確認することができます。今回の導入は23台で、重介護の方や看取りの方に使用し、スタッフの負担軽減に繋げつつ、業務改善を行い、利用者さまとの関わりをさらに豊かにしていくことを期待しております。



離れていても利用者さまの状態を確認できるから安心！



発行・企画 社会医療法人あさかホスピタル併設
介護老人保健施設 啓寿園

〒963-0102 福島県郡山市安積町笹川字経坦31
TEL 024-946-6145

私たちと一緒に働く
スタッフを募集中です！

あさかホスピタルグループ
採用サイトはこちら ▶▶▶



ひだまり

ごあいさつ

介護老人保健施設啓寿園は開設34周年を迎えます。今年は人口構造の変化により、様々な問題が発生する「2025年問題」と言われてきました。約800万人いるすべての団塊の世代が75歳以上となることで国民の5人に1人が後期高齢者という超高齢社会となり、国民の16人に1人が認知症になると言われています。高齢者人口が増加すれば、働きながら介護するビジネスケアラーが増加することが予想されます。介護と仕事を両立するのは並み大抵のことではありません。私たちは働いている方を支える重要な役割を担っています。そのような中で社会全体の労働人口の減少によりスタッフの確保が困難になることが予想されます。スタッフの働き方の見直しやテクノロジーの活用を進めていく必要があります。啓寿園では呼吸、心拍、体動、離床などがベッドに寝ているだけで自動計測されるセンサーマットを23台導入することになりました。テクノロジーを活用した介護のあり方を検証していく1年になりそうです。令和6年秋の褒章では嬉しいことに施設長の佐久間正先生が藍綬褒章を受章されました。これからも施設長を中心とし、地域で安心して介護ができる社会となるよう努力を重ねて参ります。

施設の行事・活動

令和6年度

啓寿園祭

が開催されました！

テーマは「昭和レトロな喫茶店」という事で懐かしい遊びやおいしいおやつ・楽しいゲームを行い利用者の皆さまもスタッフも楽しく笑顔で素敵な時間を過ごすことができました。スペシャルゲストにマツケンも登場しました!!



通所リハビリ & 訪問リハビリの紹介・特色

通所リハビリテーション (デイケア)

医師の指示のもと、リハビリ専門スタッフが機能訓練を提供する施設です。身体機能や認知機能の維持・回復、日常生活動作の向上を目指します。利用者さま一人ひとりに合ったサービスを提供し、安心して充実した生活をサポートします。現在、利用定員に空きがありますので、お気軽にご相談ください。

サポート体制

- ご利用日：月～土曜日
- 入浴支援
機械浴完備で家庭での入浴が難しい方も対応可能です。
- レクリエーション活動
身体を動かすゲームをはじめ、認知機能の維持改善に効果的なプログラムを提供しています。

スタッフ体制

- 理学療法士(PT)：身体機能のリハビリ、送迎
- 作業療法士(OT)：生活機能のリハビリ、送迎
- 言語聴覚士(ST)：口腔機能のリハビリ
- 管理栄養士：食事面の相談
- 看護師：健康管理及び軽度な処置対応、送迎
- 介護福祉士：入浴、トイレ等身体介護、レク活動の企画・運営、送迎

訪問リハビリテーション

リハビリスタッフ(PT・OT・ST)がご自宅に訪問し、生活や外出のサポートを行います。日常の環境でリハビリを行うことで、より実生活に即した支援が可能です。日常生活にお困りの方は担当のケアマネジャーへご相談ください。安積町周辺を中心に訪問しています。近隣地域の方もお気軽にご相談ください。

主な支援内容

- 車の乗降や玄関の出入り練習
外出時の動作を安全に行えるようサポートします。
- 福祉用具の提案
ご自宅や体の状態に合った用具を提案し、使い方もサポートします。
- 体力向上の運動提案・実施
日常生活に必要な筋力や体力の維持・向上を目指します。

利用までの流れ

利用相談 → 利用契約 → 啓寿園医師による診察 → 利用開始

※診察の際には当園まで来園していただく必要があります。

歯科衛生士の

知恵袋

「よく噛むこと」×「唾液の働き」＝ 身体の健康

皆さんは、意識してよく噛んで食べていますか？厚生労働省から提唱されている回数の目安は、一口あたり30回と言われています。現代は軟食の時代と言われ、加工された柔らかい食べ物が多く、しっかり噛むことが減ってきています。弥生時代の卑弥呼の食事は、噛む回数がなんと現代の6倍だったと言われています。

唾液の働きについて

高齢者は欠損歯や柔らかい食事で噛む回数が減り、唾液分泌が低下しやすくなります。唾液が不足すると、感染症や肺炎のリスクが高まります。唾液は口内の清潔維持以外にも、食べ物の消化や、細菌・ウイルスの感染予防など、身体全体の健康を守るために欠かせません。よく噛んで唾液を増やすことがとても大切になるのです。

⚠️ 歯にトラブルがあってはよく噛むことができません ⚠️

自覚症状なしに発生、進行することも多いので、早期発見・治療ができるように定期的な歯科検診をしましょう。当施設では、歯科衛生士が入所時及び、3カ月ごとに定期検診を行っています。歯科治療の必要がある場合は、ご家族様とご相談させていただき、あさかホスピタルの歯科を受診しています。今後も、利用者様の歯と身体の健康を守り、元気に過ごしていただけるよう支援させていただきます。

- ぜい 全身の体力向上
- い 胃腸の働きを促進する
- が がんを防ぐ
- は 歯の病気を防ぐ
- の 脳の発達
- こ 言葉の発音がきれいに
- み 味覚が発達
- ひ 肥満を防ぐ

ひみこの歯がいーぜ

噛むことの8大効用

